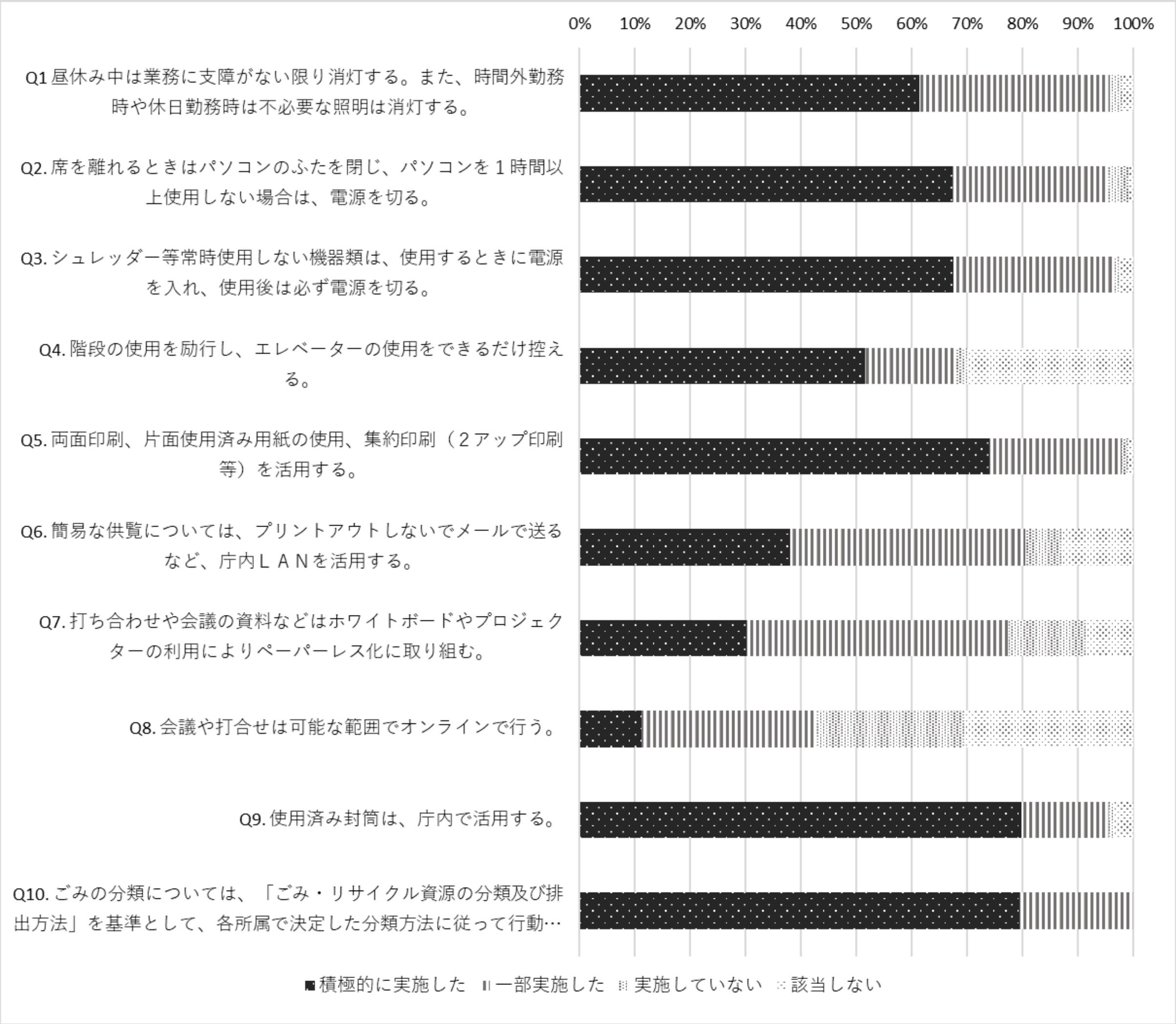
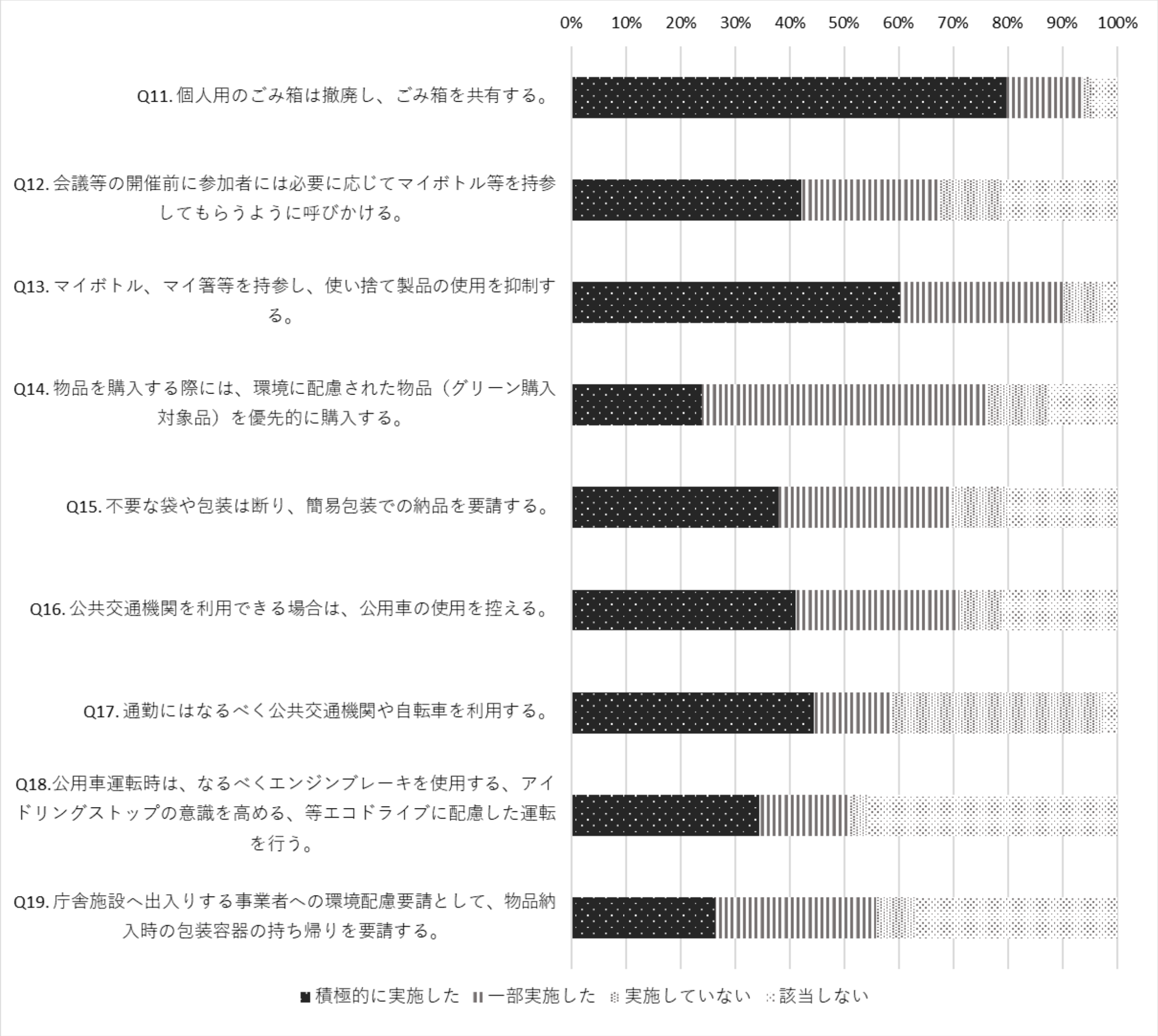
（資料３）

エコオフィス取組状況調査結果【幼保・小中学校】

実施期間：令和 5 年 6 月 7 日～6 月 30 日
対象者数：170
回答数：106
回答率：62％





Q20：エコオフィスの取組で、Q１から Q19 以外のことを実施されている場合、以下にご記入ください。

・保育児にエコの取り組みの話をわかりやすく話している。
・資料を１部印刷し、回覧したり掲示板に掲示する。
・雨水を植物の水やりに使用する。
・印刷ミスをした用紙をメモに使用する。
・コピー用紙の裏紙を使用する
・植物の水やりや屋外の洗い物は、支障のない限り雨水タンクの水を使っている。
・子ども達の服やカバンのリサイクル推奨
・水や電気の使用節約をシーズンごとに呼びかける
・職員の通勤は自動車が多いのでエコカー使用を呼びかける
・幼児とのエコ活動による啓発活動

・エアコン稼働時において、換気をしながらも、必要のない窓や扉を閉めるなどの取り組みを行っている。
・冷暖房は、２５℃・２８℃設定にし、クールビズを実施している。
・冷房効率をあげるよう、夏場の廊下はカーテンを閉めている。
・雨水タンクを利用した花壇維持、紙のリサイクル、ペットボトルのキャップの回収、
・給食の牛乳パックの回収時に全てたたんでのビニール袋の節約
・不要な紙類・段ボール等は、リサイクルに出すようにしている。
・トイレや廊下の自動消灯設定。校舎屋上のソーラーパネル設置。発電量のモニター掲示

Q21：エコオフィスの取組以外で、本来業務における環境配慮や所属で取り組んでいる独自の環境施策があれば、以下にご記入ください。
・ペットボトルや牛乳パック等の廃材を使った手作りの玩具を作成する
・資源リサイクル「古紙回収」として、家庭からリサイクル用品（古紙・新聞紙等）を持って来てもらっている。
・家庭から空き箱やペットボトルなどを持って来てもらい、子ども達の教材として活用している。
・毎週木曜をリサイクルでぃとして位置づけ、子どもたちが家庭からアルミ缶や空き箱・ペットボトルのふた等を持ち寄り古紙回収として収集している。
・職員室のごみ箱の数を減らし、各自が分別したりリサイクルしたりしてごみの量を削減できるようにしている。
・絵本等を用いて、子どもたちにも環境について考えたり知らせたりする機会を保育に取り入れ、保護者にも啓発をしている。
・夏期のプールや遊びでは、水を大切に扱う
・保育室温度の適正な管理・子ども達が製作で使った画用紙の端紙は、捨てずに再度遊びに使う
・広告誌を箱型に折り、給食時に落とした食べ物の生ごみ入れとして使っている。
・水遊びで使った水は、そのまま捨てずに植物の水やりに活用している。
・緑のカーテンの栽培活動
・水道やペーパータオルの使用方法を子どもたちや職員と取り組みを共有しながら、みんなで意識できるようにしている。
・子ども達にも、しっかりｅｃｏの話や実際の活動に取り組んでいる。
・各スーパーエコスクール認定以来、学校全体での環境教育の推進とエコ活動の取組継続。（各委員会活動におけるエコ活動への取組：生徒会『コンタクトレンズケース回収』・学級委員会『エコ活動啓発活動（ポスター・生徒会便り）・文化委員会『エコへの呼びかけ放送』・体育委員会『チョークの粉回収（体育大会で線引きに利用）』・図書委員会『エアコン設定温度の管理』・整美委員会『雨水の花の水やりへの利用』・給食委員会『食品ロスの削減』）